

江波戸市長に寄付金を手渡す地井さん



観光振興のために

地井武男さんから市へ寄付金

毎年欠かさず、八重垣神社祇園祭のために故郷へ帰ってくる、匝瑳市観光大使で俳優の地井武男さん。

同祭り初日の8月4日(土)地井さんから市へ50万円の寄付がありました。この寄付金は、4月に開催された「ちい散歩・絵手紙展」での売上げなどで、「市の観光振興に役立てていただきたい」と市長へ手渡されました。

祈りを込めて4万3千羽

平和の像に千羽鶴を捧げるセレモニー

市の平和事業の一つとして、八日市場駅前「平和の像」に千羽鶴を捧げるセレモニーが8月1日(水)に行われました。

当日は老人クラブ連合会、ボーイスカウト、市内の中学校から約70人が市民代表として出席。多くの市民から平和への願いを込めて寄せられた4万3千羽の折り鶴が捧げられました。捧げられた折り鶴は終戦記念日の8月15日まで掲示されました。



▶一束ずつ丁寧に千羽鶴を捧げていくセレモニー参加者(写真右)市民から寄せられた4万3千羽余の折り鶴



緊張していた中学生も、時間が経つにつれ自分の意見を主張できるように

意見交換でよりよい教育へ

海匝地域中学生・高校生との交流会

中高生の生の声を教育に生かすことを目的とした、県教育委員会主催による交流会が8月6日(月)県立匝瑳高校を会場に開催されました。参加したのは市内の中学校と匝瑳高校の生徒39人。「いじめ」「社会人として必要なこと」「将来の夢」などをテーマに、討論形式で活発な意見交換が行われました。

参加者は「自分と違う意見を含め、いろいろな人の話を聞いてよかった」「私たちの意見で学校生活が変わるといい」などと感想を話していました。



まっすぐ切るの難しいなあ

自分で作るとおいしいネ

共興小児童がそば打ち体験

共興コミュニティセンターで7月29日(日)共興地区社協主催のそば打ち体験が行われました。参加した共興小の児童24人は、青少年相談員の指導の下、初めての体験にとまどいながらも、粉から作り始めて麺(めん)になるまでのすべての工程を自分たちでこなししました。子供たちは、手作りそばが出来上がると、「ちょっと硬い」「おいしい!」などと話しながら、残さず食べていました。

県消防操法大会

猛暑の中、中央6部が熱演

富永孝さんが最優秀指揮者に

県消防操法大会が7月28日(土)県消防学校で開催され、各支部大会を勝ち抜いた精鋭が会場に集まり、操法技術を競いました。本市からはポンプ車操法の部に海匝地域の代表として中央分団第6部が会場に登場。朝から強い日差しが照りつけ、30度を超える猛暑の中、見事な操法演技を披露し、12チーム中5位と健闘しました。また、同部の富永孝さんが最優秀指揮者に輝きました。(16ページに関連記事)



暑さに負けず機敏な操法を披露する中央6部



防犯上の改善点を探りながら住宅街を歩く参加者

安心して住めるまちづくり

飯倉台で合同防犯現地診断

県主催「合同防犯現地診断」が豊栄地区飯倉台で7月7日(土)に開催され、市防犯協会防犯指導員、地元自治会、PTA役員など60人が参加しました。

この診断は、どのようなところで犯罪が起こりやすいのかを点検し、その改善策を練り、解決していく取り組みです。参加者は実際に住宅街や通学路などを歩きながら、「雑草が伸びている」「照明が不十分」などといった防犯上の問題を点検し、今後の改善策について話し合いました。

輪になってBON - DANCE

国際交流バーベキューパーティー

はまの駅・吉崎浜野外活動施設で8月18日(土)市国際交流協会主催のバーベキューパーティーが約10か国180人の参加の下、行われました。

各国参加者の自己紹介の後は、盆踊り、タイのダンス、よさこい踊りが披露され、初めての人も見よう見まねで踊りに挑戦。みんなで輪になって、交流を深めました。



輪になって盆踊りをエンジョイ